

②森吉山阿仁スキー場機能強化事業

ア) ゴンドラ施設の更新（ワイヤー、電気部品、受電設備等）

イ) 山麓駅舎改修

○山麓駅舎にあるレストランの一部を改修し、休憩所を設けるとともに、森吉山の魅力を伝えるパネル等の展示や特産品販売機能の強化を図る。

○将来的には、「山の案内人」を配置するなど、案内機能の強化を図る。

ウ) 圧雪車、スノーモービル更新

○経年劣化により故障しがちな圧雪車2台及びスノーモービル1台を更新する。

○圧雪車2台のうち1台はキャビンを搭載し、ゴンドラ運休時の雪上体験等にも使用する。

エ) ドックランコース新設

○ペット同伴者の利便性向上を図るためドックランコースを新設する。

オ) 森吉山地産地消基盤整備

○地域の物産・体験メニューの掘り起こしと新たなメニューの開発、売り込み、マーケティング調査等を実施する。

○阿仁合駅から山麓駅舎までの定期バスを運行する。

カ) 第1、第2ロマンスリフトの更新

○老朽化した設備は、緊急度の高いものから順に整備を行う。

キ) スキー場コース改良

○利用者の安全を確保するとともに、より楽しめるコースとするために、林の伐採や切土、盛土等によりコースを改良する。

ク) 誘客イベントの開催

○各種スキー大会や夏季におけるマウンテンバイクダウンヒルなど野外活動イベントの開催により利用増進を図る。



③森吉山イメージアップ事業

○県内外の学生と市民の協働による個性の掘り起こし調査を実施する。

○ブランド化のためのワークショップや専門家によるセミナー等を開催する。

○地域住民、専門家等を対象としたサンプルツアーの実施やマーケティングの実施。

○統一的なイメージによる「きたあきた」「森吉山」ブランドを検討し、ロゴマーク等により森吉山のイメージを確立する。

◆県事業・県市協働事業

■森吉山スキー場管理運営協議会との連携

○管理運営協議会への負担継続及び運営参画

■観光宣伝事業（PR・情報発信）

○首都圏や仙台圏の観光エージェント等への訪問による情報提供

■滞留型観光商品開発に対する支援

○森吉山を核とした滞留型観光を推進するため、観光事業者等による研修会などの開催



まるごと森吉山 観光振興プロジェクト

▲県・市未来づくり協働プログラム▲

北秋田市は「秋田県市町村未来づくり協働プログラム」に「まるごと森吉山観光振興プロジェクト」を提案し、5月21日に県正庁で行われた知事へのプレゼンテーションを経て事業採択されました。

この「秋田県市町村未来づくり協働プログラム」は、市町村の課題を解決していくため、県と市町村が協働でその地域に適した地域活性化策をオーダーメイドでつくり上げるとともに、それぞれが有するマンパワーや財源、ノウハウ等の行政資源を効果的かつ効率的に活用しながら、集中的な実施を図るものです。



◆プロジェクトの概要

森吉山エリアの観光振興を図るため、森吉山阿仁スキー場や森吉山ビジターセンター（仮称）の整備による観光基盤の拡充とともに、一年を通して楽しめる様々な体験型メニューの開発、統一的なイメージによるブランドの確立、観光案内人の育成やネットワーク化による受け入れ態勢の向上などに取り組むことにより、本エリアにおいて「いつでも」「だれでも」気軽に楽しめる滞留型観光の拠点化を目指します。

◇北秋田市事業費 約6億8千万円 / プロジェクト期間 平成25年度～平成28年度

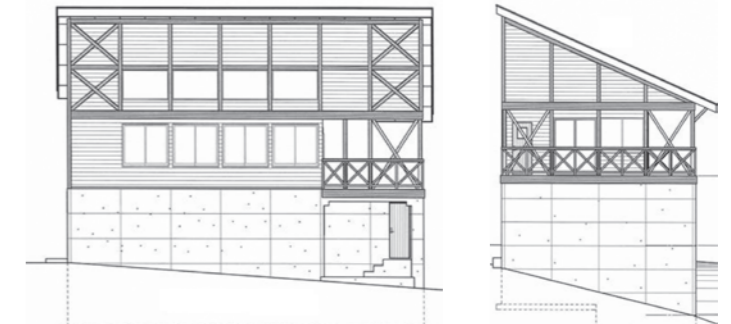
◆北秋田市事業

①森吉山ビジターセンター（仮称）整備事業

○現在ゴンドラ山頂駅舎の脇に設置している樹氷案内所を解体し、新たに2階建の森吉山ビジターセンター（仮称）を新築する。1階にはトイレや登山者の休憩所を設置。また、2階には高山植物等の自然教室や樹氷教室などが開催できる部屋とテラスを設置するとともに、山菜採りや野イチゴ狩りなど体験メニューの基地としても活用する。



▲樹氷案内所前での樹氷教室



▲森吉山ビジターセンター（仮称）のイメージ図